

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月
結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%
保護者様: 19名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・学習スペースや運動スペースの区分けをテープ等で可視化し、安全管理に努めている。
- ・法人内での異動調整や送迎調整などを行い、配置の工夫を行っている。
- ・訓練室内の柱なども有効活用し、他児の目に入らないスペースで個別対応を行うなどの工夫を行っている。

○業務改善

- ・定期的な面談で上長と振り返りを実施している。
- ・虐待防止・感染症対策・BCP・安全管理など、様々なテーマで教室内研修を実施している。法人においても役職に応じた階層別研修などに各スタッフが参加している。

○適切な支援の提供

- ・日々の打ち合わせや作成後の会議等で、スタッフ間で計画の妥当性を議論する場を設けている。
- ・業務前に当日の支援内容のミーティングを行い支援の方向をそろえている。
- ・子ども会議などを通して意見を言う場面を作ったり、いくつかの選択肢を提示して選択しやすい環境を作るなどの工夫を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・関係機関の連絡先を一覧化し、連携が取りやすい体制を整えている。
- ・連絡帳でのやりとり、個別支援計画の更新面談以外にも、必要に応じて面談の場を設けるようにしている。

○保護者への説明責任等

- ・保護者会・療育参観をを年に2回実施した。また交流会を設けることで、保護者同士の関りを持つ時間を作り、コミュニケーションを取る機会を作った。
- ・契約時や個別支援計画更新時・送迎時含め保護者に対して説明する場を設けている。
- ・毎月ニュースレターの発行を実施している。計画的に療育活動について発信し保護者とも確認することが出来ている。

○非常時等の対応

- ・毎月地震・火事・水害など様々なテーマに沿って児童も交えて避難訓練を行っている。
- ・マニュアルに沿って教室内で定期的に訓練を行い報告書を作成している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・職員の配置については、多くの保護者様にご満足していただけている。
- ・子どもの活動スペースについては多くの保護者様から広さや清潔感の面で満足していただけている。一方「どちらともいえない・わからない」との回答もあったため配置やスペース分けの工夫を行っていく。

○適切な支援の提供

- ・生徒のことを十分に理解し、生徒と保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成されているかについて、ほとんどの保護者様にご満足頂けている。
- ・地域の他の子どもとの関わりについては「わからない」との回答が多かったので今後保護者様の要望に合わせて機会を作っていく。

○保護者への説明等

- ・事業所を利用する際の説明についてはすべての保護者様からご満足していただけている。
- ・送迎時の口頭説明やサービス提供記録での支援内容の説明を行ってきたことで多くの保護者様から情報伝達についてご満足いただけている。

○非常時等の対応

- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているかについて、多くの保護者様の理解を得られていたが一部の保護者様からは「わからない」とのご意見もいただいたので口頭だけでなくお便りでの発信もしていく。
- ・ケガや事故にあっていないので詳細は分からないとの意見を頂いた。今後は教室での過ごし方、どのような所に気を付けて支援に当たっているか等承周知していく。

○満足度

- ・すべての保護者様から子どもが安心感をもって通所しているにご回答いただいた。「様々な体験ができて楽しい」との意見もあり、事業所の支援への満足感に関してもほとんどの保護者様から満足していただけている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者募参加しやすい日程で保者会を実施する。
- ・ブログを定期的に更新し子ども募様子を保護者へ分かりやすく共有する。
- ・活動プログラムで誦体を動かす活動を取り入れる。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・夏と冬に2回療育参観や保護者会を実施することができた。多くの保護者様にご参会いただき保護者様同士の交流の場を設けることができた。
- ・今年度は新たにボーリング場への課外活動を企画したり、発達支援室の配置変更で運動スペースを多く確保するなど体を動かす時間を確保することができた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者様やこどものニーズに合わせた個別支援計画の策定を行っている。また個別課題や集団療育も一人ひとりに提供。
- ・送迎時の申し送りや定期的な面談、家族支援により保護者様と密な連携をとり支援を行うことができている。
- ・祝日や長期休暇に季節のイベントや課外活動等様々な企画を行うことでこどもが楽しんで通所し多くの体験ができています。
- ・支援プログラムや利用者負担など利用開始時に丁寧な説明を行い保護者様に理解していただくことができている。

○改善点

- ・避難訓練の様子や緊急時に備えた各マニュアルについて教室内では整備できているが保護者様への認知度に課題があるため、年度初めや長期休暇前にお便りを配り更に安全な事業省づくりを行う。
- ・定期的なブログの更新を行い、写真で教室の様子を伝えることでより保護者様に支援を理解していただける体制を作る。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・自然災害などの緊急時の動きをこどもと職員だけでなく保護者様にも理解をしていただく。
- ・保護者様に口頭以外で教室の様子を伝えることができるような機会を増やしていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・4月、9月、1月に安全管理のマニュアルを保護者様に配布し内容の確認をしていただく。
- ・避難訓練で実際に第一避難場所まで行き保護者様へこどもの様子をお伝えすることで有事に備える。
- ・毎月発行しているニュースレターに写真を多く掲載する。
- ・ブログの更新を年に4回行いよりわかりやすく支援の様子や教室の雰囲気をお伝えしていく。
- ・写真や動画を使用したスライドショーを作成し保護者会で上映する。

スマートキッズ